

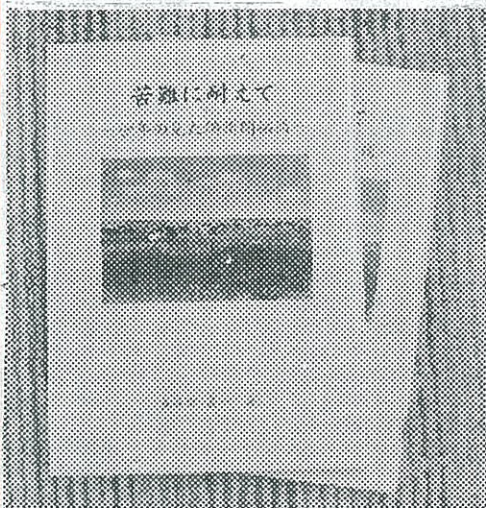


発行所
羽幌タイムス社
苫前郡羽幌町南6の4
☎ 62-2161 (代)
FAX 62-2162

時代にほんろうされた馬産開拓団 羽幌生まれの長谷田さんが本にし寄贈

【羽幌】羽幌生まれで戦争末期に築別炭鉱から叔父や兄とともに「馬産開拓団」に参加、異国の地での経験を綴った長谷田眞一さん(79)＝宮城県多賀城市在住＝の『苦難に耐えて少年の見た満州開拓団』が公民館図書室に寄贈された。翻ろうされ続けた足どりに興味を誘うほか、時代の記録としての価値もありそうだ。

町監査委員の米澤幸雄さんのいとこにあたる。戦争が終結する間際の昭和二十年四月、新天地を夢みて、両親



図書室に寄贈された「少年の見た満州開拓団」

が他界し世話になってきた叔父と炭鉱で馬引きの仕事をしていた兄とともに、牛馬を伴い出発した。長谷田さんは当時十三歳だった。まもなくB29の本土空襲が始まるころだが、大本営発表で負けるわ

けはないと樂觀視、満州へ渡ったあとの沖縄の戦況、広島、長崎の原爆投下を知らず、ソ連軍の侵攻はまさに寝耳に水だった。本には目的地までの旅、開拓村のようす、現地の人たちとの交流が詳細に書かれ、そんないつとときの安らぎも八月のソ連軍侵攻で打ち破られ、逃避行が続く。兄と再会、長春で

落ち着くものの、叔父は十二月に発疹チフスで死亡、ソ連軍の駐留中国共産党の八露軍を目的の当たりにしながら、兄は翌三月に高熱に倒れて息を引き取る。叔父と兄の入った木箱を背負って長谷田さんが帰国したのは八月だ。B5版、九十四ページ、図書室で貸出している。

本の修理講習会

【苫前】公民館図書室の「本の修理講習会」が二十七日午前九時半から町公民館で開かれる。今年度の文科省委託職員。

羽幌カラー現像所

葬儀写真・集合写真・ビデオの「ご用命をお待ちしています」
代表 渡辺 忠
羽幌町南5条1丁目
TEL 62-45442

体協スポーツ少年団 合同研修会

技も行つ。参加は無料。参加者を募集中で、当日の申込もOKだ。

三町村 ガイド

【苫前】苫前町体育協会、スポーツ少年団本部の合同研修会が二十六日午後七時から町公民館で開かれる。今年度は稚内市ブルー水夢館のインストラクター、門間奈月さんを講師に、スポーツ選手の手ウォーミングアップとクールダウンの基礎知識を学ぶほか、実

体交通安全総決起大会が二十日午後六時から初山別村自然交流センターで開かれる。「安全で安心して暮らせる地域社会をめざして」をスローガンに、羽幌地区交通安全協会連合会、安全運転者事業主会、三町村の交通安全推進協議会、交通安全協会などが主催す

る。産業活動の追い込み期に入り、貨物輸送などの交通量が一段と増加するとともに、初冬期における道路環境の悪化など交通事故の多発が懸念されることから、輸送関連団体の関係者が集結し、交通法規の遵守と交通ルールを実践する決意を新た

にして、地域、職場、家庭において交通安全意識を高め、交通事故の防止を図る。主催者あいさつ、交通功労者・交通功労団体・優良運転者を表彰、羽幌署の相澤博昭地域交通課長の講話などのあと、大会決議を行う。

いため、火の海に飛びこんだ。もし、そのせいで二人が死んでしま

しみてわかったので、よしとしたい。良くなることは尊く

ものになることは難しそう。だが、いつかきつとなれると信じて

今の時代、大きくて尊いものは一体どのくらいいるのだろう。

手助けだってできるの。七百年では、路上生活者におにぎり二つ十固は共できます。千ボラ